

路線バスサービス情報発信事業

背景・目的

これまで実施してきた路線バスのサービス改善に向けた取組みは、一定の支持を受けている反面、まだまだ認知度が低い状況にあります。そこで、各種サービス改善の取組みについて、利用者や観光客等に広く周知を図り、更なる利用促進につなげていきます。

周知強化する取組み

- ◆まだまだ認知度が低く、周知による利用促進が見込めるものを重点的に周知強化する。
 - 上限運賃政策
 - 幹線軸の10分・20分間隔のパターンダイヤ
 - 共同運行路線・共通定期券
 - お得な一日乗車券 etc.
- ◆利便性の改善が利用促進につながっていないものを重点的に周知強化する。
 - 路線ナンバリング・方面別記号
 - 中心街ターミナルの整備 etc.

情報発信方法

印刷物の作成等

- ▼ B2版ポスター制作：300枚
- ▼ B3版ポスター制作：250枚
- ▼ A4版チラシ制作：2万枚
- ▼ ステッカー・のぼり制作 etc.

マスメディアの活用等

- ▼ みちのくシュフー周知広告
- ▼ スマートフォンバナー広告
- ▼ 路線・運賃相談会の開催
- ▼ 専用ホームページ制作 etc.